



こどもまんなか city の合言葉

北九州市こどもまんなかスイッチ！

自分がこどもだった頃、大人ってどんなふうに見えていただろう。
いろいろなことを教えてくれる大人がいた。
いつも声をかけてくれる大人もいた。ときには、叱られたこともあった。

今、大人になって、こどもたちにできることはなんだろう。
大きなことはできないけれど、やさしく見守ることならできるかも。
こどもの頃に、近くで寄り添ってくれた大人のように。

まずはこどもの周りに、にこにこ笑顔があふれていることが、
だれもが始められるスタートライン。

このアクションが、合言葉となって広がり、
こどもが地域の「まんなか」になるように。
こどもも大人も、笑顔が絶えない北九州市になるように。

みなさんも、こどもまんなかスイッチを入れてみませんか？

<アクション>

- 1 こどもがいたら、みんなで「**にこにこスイッチ**」オン！
- 2 こどもとは、ひざをかがめて「**同じ目線**」で
- 3 こどもに教え諭（さと）すときには「**愛情いちばん**」
- 4 子育ては時に大変なことも。やさしく伝える「**大丈夫**」
- 5 こどもの周りには、いつもたくさんの「**ありがとう**」を

「こどもまんなかスイッチ」を入れ、アクション！

【アクション1】

こどもがいたら、みんなで
「ここにこスイッチ」オン！



▶まず大人がこどもに笑顔向け、こどもを笑顔にし、地域で笑顔の輪を広げよう！



【アクション2】

こどもとは、
ひざをかがめて「同じ目線」で



▶こどもを社会をつくっていく仲間として尊重し、その考えを受けとめよう。こどもと目線を合わせる時は大人の方から行動しよう！

【アクション3】

こどもに教え諭（さと）すときには、
「愛情いちばん」



▶こどもに教え諭すなど、大切なことをきちんと伝えるのも大人の役割。その時、そこに愛情があるか、自身に問いかけよう！

【アクション4】

子育ては時に大変なことも。
やさしく伝える「大丈夫」



▶子育ては、楽しいことだけでなく、大変な時もある。そのような時に、優しく寄り添い「心配ありませんよ」と伝えよう！

【アクション5】

こどもの周りには、
いつもたくさんの「ありがとう」を



▶「ありがとう」は、大人でもこどもでも言われるとうれしいと感じる言葉。このような言葉が、こどもの周りで交わされる温かな地域がいいね！